



頼総統、石破氏らと会談

台湾「日本と民主主義の傘支える」

【台北＝西見由章】台湾の頼清徳総統は13日、総統府で会談した。頼氏は「国防力と経済の強靱性を強化し、日本などの民主主義のパートナーとともに『民主主義の傘』を支えていきたい」と述べた。総統府が発表した。

台湾総統府を訪れ、頼清徳総統（右）と会談する自民党の石破茂元幹事長（左）

13日（総統府提供・共同）

頼氏は「今日のウクライナが明日の東アジアとなるのを防ぐことが急務だ」と述べ、「民主主義陣営がともに抑止力を発揮してこそ、地域の平和と安定を守る事ができる」との考えを示した。

石破氏は台湾有事を念頭に「今日のウクライナが明日の東アジアとなるのを防ぐことが急務だ」と述べ、「民主主義陣営がともに抑止力を発揮してこそ、地域の平和と安定を守る事ができる」との考えを示した。頼氏は、宮崎県で震度6弱を観測した8日の地震の被害に対して見舞いの意を表明。石破氏は謝意を示した上で、台湾の災害対応の迅速さに「日本人は非常に驚き感服している」と述べた。

訪台したのは「日本の安全保障を考える議員の会」メンバー。共同団長を石破氏と、教育無償化を実現する会の前原誠司代表が務め、自民の中谷元・元防衛相や長島昭久元防衛副大臣らも参加した。14日まで滞在する。

石破氏ら台湾総統と会談

超党派議員団 安保巡り意見交換

【台北＝龍元秀明】台湾訪問中の自民党の石破茂元幹事長ら超党派の国會議員団は13日、頼清徳（ライ・チンドー）総統と台北市内で会談した。対中国を念頭に、安全保障や経済分野の日台協力を巡り意見を交わした。総統府によると、石破氏は中国がインド太平洋地域の平和と脅威をもたらしていること指摘し、台湾には民主主義陣営とともに地域の平和を営つたことに感謝の意を述べた。



13日、頼総統（右）と会談した自民党の石破氏（台北市）＝総統府提供

頼氏は中国がインド太平洋地域の平和と脅威をもたらしていること指摘し、台湾には民主主義陣営とともに地域の平和を営つたことに感謝の意を述べた。自民党の中谷元・元防衛相、長島昭久元防衛副大臣、立憲民主党の渡辺周元防衛副大臣、衆院会派「有志の会」の北神圭朗衆院議員も会談に参加した。

議員団は12日には蕭美琴副総統と会談し、アジア太平洋地域の平和維持や、議員交流の強化などについて話し合った。14日まで台湾に滞在する予定だ。

23日閉会中審査 株価乱高下巡り 衆院財金委

与野党は13日、衆院財務金融委員会の理事懇談会を開き、株価の乱高下を受け23日に閉会中審査を開くと合意した。所要時間は2時間半を予定する。与野党は鈴木俊一財務相、日銀の植田和男総裁に出席を求める。

戦没者に深く哀悼を 官房長官が談話

林芳正官房長官は14日付